

平成 30 年度南予地方局予算の実施状況 (H31. 3. 31 現在)

- 1 予算事項名 河内晩柑魅力発信事業費
- 2 事業期間 平成 30 年度～令和元年度
- 3 所 管 産業経済部産業振興課産地戦略推進室

4 事業概要

河内晩柑は本県が生産量日本一であり、県内では宇和島圏域での生産がその 9 割以上を占めるなど、南予を代表する柑橘の一つである。果皮にはオーラプテンなどの有効な機能性成分を含むことが判明している一方で、生産者には十分浸透しておらず、また生果自体の認知度も低い状況にある。

そこで、河内晩柑果皮の機能性成分が明らかになったことを契機に、関係団体と連携し、生産者への意識啓発を行い、河内晩柑の生果自体の認知度やブランド力の向上による生産振興・消費拡大を図り、柑橘農家の所得向上と南予農業の活性化に資する。

	平成 30 年度
予算額	795 千円

5 30 年度の事業実施状況

(1) 河内晩柑魅力発信協議会の開催

宇和島市、愛南町、JA えひめ南、県(南予地方局)で構成する「河内晩柑魅力発信協議会」(5月11日)を設立し、河内晩柑の認知度やブランド力の向上を図るため、関係者が一丸となって魅力発信や消費拡大に取り組むこととなった。

(2) 生産者に対するセミナーの開催

「河内晩柑認知度向上セミナー」(11月19日)を愛南町で開催し、河内晩柑生産者や加工業者等 74 人に対して、河内晩柑の果皮に含まれる機能性や加工利用による高付加価値化についての認知度向上を図った。

(3) 河内晩柑の魅力発信

消費者等に河内晩柑の魅力を紹介するため、PRチラシを 10,000 部作成し、県内外のイベントや直売所で配布したほか、アルタビジョン(東京都新宿区)での映像広告の放映やマスコミ情報提供等により魅力発信に取り組んだ。

(4) 加工品レシピ集の作成、配布

消費者の果皮利用を促進するため、加工業者や調理専門学校へ加工品のレシピ開発を委託し、8品目のレシピ集を 4,000 部作成し市町等に配布した。



PRチラシ



レシピ集

(5) 大消費地での生果等の販売促進

- ・ 5月24～25日 伊勢丹新宿店での河内晩柑販売促進(東京都新宿区)
- ・ 5月(1か月間) 河内晩柑のPV放映(東京都新宿区)
- ・ 6月29日～7月1日 台湾裕毛屋での愛媛フェア(台湾台中市)
(県産農林水産物輸出促進事業(ブランド戦略課)と連携)